

(2) 自主事業への取組

(2) - 1 取組の基本的な考え方

自主事業は、利用者サービスの充実を図るとともに、公園の特徴を生かしその設置目的と効用を最大限に高めるよう、次の観点を基本的な考え方として計画立案、実施します。具体的事業では、幼児から高齢者まで幅広い層を対象に、お客様の目的やニーズに応じて、たくさんの方々に来園いただけるよう、魅力あるプログラムを提供します。

また、自主事業は、仕様書に記載された業務に影響のないように計画するとともに、札幌市に申請書を提出し、承認を得た上で実施します。

なお、緑化協会が担当して行う自主事業のうち、税法上の収益事業に該当する場合は、その利益の一部50%以上は、公益事業である公園の利用促進や利用者サービスの向上、広報活動、維持管理等の管理運営経費に還元します。

コンプライアンス

公園の管理運営に必要な関係法令を遵守し、公正に行います。

公平・平等

自主事業の周知と募集にあたっては、広報誌をはじめ、公式ホームページ、チラシなどで広く周知し、参加機会の均等を確保します。

また、定員を超える応募があった場合には、抽選等により公平性を確保します。

安全体制の確保

行催事の実施にあたっては、会場や使用備品等の点検をはじめ、事故防止を徹底します。また、事業ごとに必要な人員を配置して、適正な利用指導を行います。

ニーズに対応した事業

イベントごとにお客様から直接の聞き取りやアンケートを行うほか、電子メールなどにより情報収集、的確に要望や意見を把握し、事業運営に反映させます。

クオリティの確保

講習会などの自主事業の内容については、これまでの当公園管理の経験と、多数の公園を管理しているスケールメリットを生かして多様な事業やプログラムを検討します。

また、講師については、事業内容により経験と知識の豊かな当コンソーシアムスタッフがあたることを基本としつつ、特殊な能力や知識を必要とするものについては外部講師を招聘するなどして、高いクオリティを確保します。

地域やボランティア等との連携

自主事業として実施する比較的大きな行催事等については、地域の方々や公園ボランティアとの協働・連携を図りながら進めます。また、こうした繋がりを活かし、地域団体や公園ボランティア活動の活性化に努めます。

事故発生時の対応

自主事業の実施に際してはレクリエーション保険等に加入し、万全を期します。万一、参加者がケガをするなどの事故が発生した場合には、迅速かつ誠意を持って対応します。

(2) - 2 取組の具体的内容

公益事業

① 体験イベント、体験型講習会

《森のリースづくり・お正月飾りクラフト講習会》

園内の植物廃材を利用したリースづくりの講習会を開催し、来園へのきっかけづくりとします。

・実施時期/回数：11～12月、2回程度/年 ・事前申込

《歩くスキー講習会》

冬季の公園利活用として整備している歩くスキーコースを使用し、講習会を開催します。初心者向けから、スケーティング等中上級者向け講習会等内容や対象に応じて実施します。

・実施時期/回数：1～2月、5回程度/年 ・事前申込

上記講習会の実施時にはレクリエーション保険等の参加費を徴収し、安心して参加できるイベント運営を行います。

体験イベント、体験型講習会（単位：円）	
年次目標	R5 年度
収入予定金額	250,000
支出予定金額	23,000
収支予算	227,000

② 前田森林公園ふじまつり

サンクガーデンの両翼には、全長320mの大パーゴラ（藤棚）があり、北海道内では他に類を見ない壮大な景観となっています。フジの開花時期には多くの利用者が訪れることから、ボランティアの公園ガイドによる解説で公園の見どころを紹介するほか、フジのつるを用いたクラフト体験などを通じ、魅力を伝えます。

また、ミニコンサートや縁日コーナーを行うことで、幅広い客層が参加できるようなイベント運営を行います。

- ・実施時期/回数：6月上旬、1回/年
- ・連携団体：前田森林公園凸凹クラブ／札幌手稲子ども劇場等

ふじまつり（単位：円）	
年次目標	R5 年度
収入予定金額	150,000
支出予定金額	30,000
収支予算	120,000

③ スノーラフティングボート

冬季の公園利用促進事業では、冬のレジャーとして人気のある、スノーラフティングボートを引き続き運行します。

- ・実施時期/回数：1～3月上旬の土日祝日（積雪及び天候状況で変更があり）

スノーラフティングボート（単位：円）	
年次目標	R5 年度
収入予定金額	178,000
支出予定金額	55,000
収支予算	123,000

収益事業

① スポーツグッズの貸出

公園利用を促進するために、スポーツグッズの貸出を行います。貸出物品としてパークゴルフセット、歩くスキーセット、スノーシューを用意し、健康増進とレジャーの場として、公園を気軽に楽しんでいただきます。スキーやスノーシューの初心者へは、道具装着のサポートをします。

- ・実施時期：パークゴルフセットは施設開放期間に準じます。
歩くスキーセット・スノーシューは1月上旬～3月上旬

スポーツグッズの貸出（単位：円）	
年次目標	R5 年度
収入予定金額	1,150,000
支出予定金額	180,000
収支予算	970,000

② 展望ラウンジ、パークゴルフ場レストランの営業

公園利用者へのサービス提供として、展望ラウンジ 2 階、パークゴルフ場クラブハウス内に委託方式による軽食コーナー・臨時売店を出店し、飲食物等の販売をします。

また、クラブハウス内臨時売店には「BBQ ラムセット 2 人前」（事前予約制）をはじめ、バーベキュー広場利用に必要な物品販売を行うことで、気軽に屋外でのバーベキューを楽しめるようにし、更なる利用促進を図ります。

- ・実施時期/回数：4月中旬頃から11月上旬頃まで毎日

展望ラウンジ、パークゴルフ場レストランの営業（単位：円）	
年次目標	R5 年度
収入予定金額	500,000
支出予定金額	0
収支予算	500,000

③ 臨時売店の営業

毎週土曜・日曜と祝日に、管理事務所前で臨時売店を営業することで、公園利用者の利便性を図るとともに園内のにぎわいを演出します。

- ・実施時期/回数：年末年始を除く毎週土日祝日

臨時売店の営業（単位：円）	
年次目標	R5 年度
収入予定金額	100,000
支出予定金額	0
収支予算	100,000

④ バーベキュー広場用販売・レンタル

気軽にバーベキューを楽しめるよう、炭や焼き網等の販売をするとともに、固定炉の空きがない場合のため、コンロの有料貸出を行います。

- ・実施時期：パークゴルフ場クラブハウス開放期間に準じます。
- ・対象：バーベキュー広場利用者

バーベキュー広場用販売・レンタル（単位：円）	
年次目標	R5 年度
収入予定金額	700,000
支出予定金額	360,000
収支予算	340,000

⑤ 売店の営業

芝生広場での遊び道具として、フリスビー、シャボン玉、ゴムボールなどの昔懐かしい玩具等をはじめ、園内の植物廃材を使用したクラフトや、札幌高等養護学校の生徒の作品等を、前田森林公園管理事務所販売します。

- ・実施時期：管理事務所開放期間に準じます。

売店営業（単位：円）	
年次目標	R5 年度
収入予定金額	450,000
支出予定金額	200,000
収支予算	250,000

⑥ 自動販売機の設置

前田森林公園内の展望ラウンジ、休憩舎、管理事務所、パークゴルフ場及び山口緑地パークゴルフ場と明日風公園に清涼飲料水の自動販売機を設置し、利用者の利便性を向上させます。設置の際には省エネルギー・環境配慮・災害対応型の機器を検討します。

- ・実施時期：4月中旬～12月初旬

自動販売機の設置（単位：円）	
年次目標	R5 年度
収入予定金額	2,760,000
支出予定金額	360,000
収支予算	2,400,000

(3) 自主事業売上目標

項 目		R5 年度
公益事業	体験イベント・講習会	250
	前田森林公園ふじまつり	150
	スノーラフティングボート	178
収益事業	スポーツグッズの貸出	1,150
	臨時売店の営業	600
	バーベキュー広場販売レンタル	700
	直営売店の営業	450
	自動販売機の設置	2,760
合 計（単位：千円）		6,238

6 管理業務に付随する業務（施設ホームページのウェブアクセシビリティ確保）について

（1）既存サイトの継続使用によるアクセシビリティ確保

緑化協会の既存サイトで現在公開している当公園のホームページを、引き続き改善しながら運用するとともに、次のとおりウェブアクセシビリティの確保に努めます。

① 既に達成済みの適合レベル AA 準拠の維持・向上に向けた取組スケジュール

当公園のホームページについては、平成 29 年度に試験を行い、日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠しています。今後のウェブアクセシビリティの維持・向上に向けた取組としては、毎年4月に担当職員を対象としたアクセシビリティ講習を行うとともに、「NPO 法人手と手」や「公益社団法人札幌市視覚障害者福祉協会」等の福祉団体に年1回のチェックを依頼し、意見・助言をいただき対応します。

② 新規ページ作成・ページ修正時におけるアクセシビリティ確保の方策

ページの新規作成時や修正時には、緑化協会で作成した「アクセシビリティマニュアル」に基づき適切に対応します。

③ 試験実施予定時期及び方法

既に公開しているホームページは試験実施済みですが、ホームページのリニューアルや JIS 規格の変更があった場合は、速やかに JIS X 8341-3：2016「附属書 JB（参考）試験方法」に基づいた試験を行い、結果を公開します。

④ アクセシビリティ維持・向上の取組（職員研修・利用者からの意見収集等）

上記①に示した対象職員へのアクセシビリティ講習や福祉団体からの意見聴取を行う他、一般利用者からも電子メール等で意見をいただけるよう、ホームページ上で案内します。

⑤ ウェブアクセシビリティの問題が発生した場合における対応方法等

ウェブアクセシビリティに関わる問題が発生した場合には、担当者を決めて情報を集約し、専門業者と連携を取って解決に向けた対応を迅速に実施します。また、他公園、他ドメインにおいて同様の問題発生の恐れがある場合には、前もって対処します。

⑥ 過去のウェブアクセシビリティ対応実績

ウェブアクセシビリティ対応の実績としては、当公園をはじめ、緑化協会が管理運営する札幌市指定管理施設のすべてのホームページ、及び緑化協会のホームページにおいて、既に日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠しています。

7 札幌市内の企業等の活用について

(1) 活用についての考え方

当コンソーシアムの代表企業である緑化協会では、物品の購入と外部への委託等については、札幌市内の企業・団体を優先的に活用しています。

(1) - 1 札幌市内の企業・団体を活用する理由

- 地域経済の発展に寄与するため。
- 優秀な技術、商品等をいち早く入手するため。
- 地域の高度な技術や優良製品等が市民の目に留まる機会となるため。
- 商品等の輸送時に排出されるCO₂の抑制に貢献するため。

次の優先事項を考慮して、当公園の管理において、適切な市内企業を選定し活用していきます。

(1) - 2 札幌市内の企業・団体の中での優先事項

- 福祉施策に積極的に取り組んでいる企業
- 環境に配慮した商品や技術を有している企業
- 福祉施設・団体等が生産する物品等の調達
- 地域の風土、素材、デザイン、特産等を生かした札幌らしい商品・サービス等の調達

(2) 活用に向けた具体的な取組

当コンソーシアムでは、上記の理由及び優先事項に適合する札幌市内の企業や商品等を適切に選定するために、次のとおり取り組みます。

- ① 緑化協会が管理する公園・施設間の情報を共有して、企業のコンプライアンス・信用力、業務の体制や実績等を総合的に見極めて事業者を選定するよう努めます。
- ② 商品の適正価格、品質、サービスの柔軟性等の要素についてよく検討して、管理経費の節減と適切な業務遂行に相応しいものを選びます。
- ③ 新聞、テレビ、インターネット、情報誌等により、札幌市内の企業や商品等の情報収集に努め、積極的な活用につなげます。
- ④ 札幌市中小企業振興条例の理念に則り、中小企業や個人経営者の受注機会を増やし、地域の商店などの活性化に努めます。
- ⑤ 「令和4年度札幌市障害者就労施設等からの物品等の調達方針」の趣旨を理解し、障害者就労施設等からの物品・販売商品等の調達や業務の委託などの継続・拡大に努めます。

管理に係る収支計画書(様式4-2 令和5年度)

【前田森林公園等】

法人・団体名:公園緑化協会・ていねグリーンコンソーシアム

科目	指定管理業務			自主事業					計	
	管理費	事業費	小計	自主(公益)	管理費	収益事業	管理費	小計		
収入	指定管理費		97,326						97,326	
	利用料金収入		26,600						26,600	
	その他収入			578		5,660		6,238	6,238	
	収入計		123,926	578	0	5,660	0	6,238	130,164	
支出	人件費(職員費)	4,510	31,409	35,919	0	15	0	247	262	36,181
	人件費(臨職)	48	47,296	47,344	0	0	0	7	7	47,351
	旅費交通費	17	10	27	0	0	0	1	1	28
	通信運搬費	21	560	581	0	0	0	2	2	583
	什器備品費	25	276	301	0	1	80	2	83	384
	消耗品費	36	1,173	1,209	20	0	76	2	98	1,307
	備品購入費	2	0	2	0	0	0	0	0	2
	修繕費	8	1,153	1,161	0	0	0	1	1	1,162
	原材料費	0	842	842	0	0	0	0	0	842
	商品仕入費	0	0	0	0	0	560	0	560	560
	印刷製本費	7	120	127	0	0	0	1	1	128
	被服費	1	182	183	0	0	0	0	0	183
	燃料費	2	2,900	2,902	0	0	0	1	1	2,903
	光熱水費	38	11,000	11,038	0	0	0	2	2	11,040
	賃借料	258	5,510	5,768	0	1	13	17	31	5,799
	保険料	2	610	612	50	0	0	0	50	662
	諸謝金	93	0	93	0	0	0	6	6	99
	租税公課	9	31	40	0	0	0	1	1	41
	(預かり消費税分)	456	7,108	7,564	0	2	0	25	27	7,591
	支払負担金	45	10	55	0	0	0	3	3	58
	支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託費	119	9,750	9,869	0	1	0	8	9	9,878
	広告宣伝費	37	150	187	0	0	0	2	2	189
	手数料支出	115	94	209	0	1	0	8	9	218
	交際費	1	0	1	0	0	0	0	0	1
	報償費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雑費	15	668	683	17	0	30	1	48	731
	リース債務返済支出	4	0	4	0	0	0	0	0	4
	支払利息	4	0	4	0	0	0	1	1	5
	寄附金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報酬	14	0	14	0	0	0	1	1	15	
ソフトウェア使用料	16	100	116	0	0	0	1	1	117	
講習・研修費	10	90	100	0	0	0	1	1	101	
行政財産目的外使	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他(本社経費)	0	1,317	1,317	0	0	0	0	0	1,317	
支出計	5,913	122,359	128,272	87	21	759	341	1,208	129,480	
利益等	収支		-4,346	470		4,560		5,030	684	
	利益還元							0	0	
	法人税等								684	
	当期純利益								0	

※ 当初5年度分(R5~R9)の年度ごとの収支計画書を作成してください。
 ※ それぞれの項欄について、必要に応じて小区分を設定しても構いません。
 ※ 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 ※ 税込みで記載してください(以下、様式4-3から4-5まで同じ)。
 ※ 「利益還元」の項には、利益のうち還元額を記載してください。
 ※ 様式4-3から4-5までにより積算内容を記載してください。